

## 大阪府立たまがわ高等支援学校 令和3年度 第1回 学校運営協議会の概要

- [1] 日時 令和3年6月25日(金) 午前10時00分～11時00分
- [2] 場所 大阪府立たまがわ高等支援学校
- [3] 出席 協議会委員6名 事務局員9名
- [4] 内容
  - 1 開会の挨拶
  - 2 事務局から説明
    - (1) 学校運営協議会実施要項
    - (2) 令和2年度学校経営計画及び学校評価について(報告)
    - (3) 令和3年度学校経営計画及び学校評価について  
進路指導の状況について(報告)  
生徒指導の状況について(報告)  
令和3年度教科書について
    - (4) その他
  - 3 協議
  - 4 閉会の挨拶
  - 5 諸連絡

### 議事録(抄録)

≪議事録中、●は協議会委員です≫

#### 1 開会の挨拶 (校長)

緊急事態宣言が明け、蔓延防止期間中ですがお集まりいただきありがとうございます。

まだまだコロナへの対応が厳しく、今年はずっとのびのびと従前のような活動をしてもらいたかったが、まだできていない。子どもたちには様々な経験をしてほしい。教員も今まで通りできるように心を砕いてやってもらっている。いろいろなアイデアやご意見をお願いします。

司会：今年度も協議会会長は●様をお願いいたします。 → 一同了承。

○協議会委員自己紹介および事務局員紹介(委員等の詳細は本ホームページ内別掲)

#### 2 事務局から説明

##### (1) 学校運営協議会実施要項(校長)

実施要項より、変更点のみ説明。(議事)第10条 書面決議やオンライン会議について。

必ず事前に確認をしてから行う。今後の状況によっては要望することもある。

(2) 令和2年度学校経営計画及び学校評価について（報告）（校長）

昨年度の第3回学校運営協議会で示したものと変わっていない。

第3回の学校運営協議会のときにいただいたご意見を追加した。

(3) 令和3年度学校経営計画及び学校評価について（校長）

昨年度の第3回学校運営協議会で承認いただいたものと変わっていない。

進捗について報告。

○中期目標1 外部への発信について

外部機関との連携は鋭意進めている。他校との連携は、現在検討中。

地域に根差した教育活動について、6月のマルシェは23日に実施した。

6月30日、7月1日の中学校等教員向け公開授業は60名程度が参加予定。

○中期目標2 教育活動の充実について

卒業後のアフターフォローについては、緊急性のないものは慎むように指示があったが、6月22日から随時行っている。ICT機器の活用も進めている。キャリア教育の充実については、「キャリアプランニングマトリックス」を改訂して学校教育へリンクさせる。

生徒会活動、部活動について。生徒会ミーティングを定例化し、月に2～3回の割合で行っている。挨拶運動、清掃活動に加え、販売実習室のリフォームを生徒会で計画し、夏休みに実施する予定。部活動は緊急事態宣言中休止していたが今週から再開した。やっと体験入部が始まったところ。加入率80%以上を継続できるように各顧問ががんばっている。

○中期目標3 校内体制の確立について

今のところ宣言が明けたので研修はスケジュール通りに行いたい。SSWは新しい人に変わったが、今まで通りやってもらっている。学校経営推進費は、二次のプレゼンまで進んだが、獲得できなかった。コロナ対応により対象が15校から8校に減らされた。ただ、会議室にプロジェクターをつけて活用する方向で現在検討中。

質問

●委員：中期目標2(1)就労率の維持及び定着率の向上で、離職率5%以内だったのが、10%以内になっているのはなぜか。

校長：3年後に5%をめざすが、今年度については10%とした。

●委員：定着は準備性とマッチングが大切。とはいえ現実には難しい。

校長：昨年度はかなり厳しい状況だったので、実習先や就労先が十分ある中から選べたというよりも、受け入れがあるところでなんとか就労した。

今のところの離職者は0。

●委員：販売実習室はリフォームして何に使うのか。

校長：もう少し喫茶店らしくするためのリフォームで、機能は同じ。

●委員：情報提供は必要。中学校等教員向けの公開授業はどのように行うのか。

校長：今まで保護者、本人対象のオープンスクールはやっていた。保護者は中学校の先生に進路について相談するが、中学校の先生が知っている学校は説明できるが知らない学校の場合は説明しにくい。できるだけ中学校の先生が知っていることが大切なのでまずは授業を見てもらう。

#### ○進路指導の状況について（報告）（事務局員）

13期生の状況について。56名就労した。コロナの影響で月を追うごとに進路決定が苦しくなった。職業能力開発施設4名、障がい者福祉事業所4名は、例年より多くなった。職種について。介護補助は施設でクラスターが発生するなどの中でも、例年より多い7名が就労した。最近では事務補助を希望する生徒が多い。販売・品出しは16名と多かった。スーパーマーケットは人手不足で求人があった。

当面の進路指導について。1年生は先週進路ガイダンスを実施した。例年は近隣の会社を訪問して現場の雰囲気味わうが、コロナで見学ができなくなった。その代わり、いつもお世話になっている会社に学校へ来てもらって出前授業や、リモートでの会社見学を行った。

2年生の実習は日程が3週間後ろになったが、来週から実施できる予定。昨年実習を経験できなかったのが初めての実習になる。進路としてはなんとかがんばって実習先を揃えた。

3年生は約40名が6月中に1回目の実習を終えた。今後も7月22日まで1回目の実習が続く。

定着支援については、アフターケアが実施できなかったため電話で問い合わせをした。概ね調子は良かった。これから本格的に訪問を始める。

#### ○生徒指導の状況について（報告）（事務局員）

指導の案件がある場合、状況把握と教員間での共有を大切にして進めている。指導にあたっては、自発的な行動を促す指導を、生徒と保護者へ伝えたいで行っている。

いじめ対策については、事象があった場合いじめ対策委員会を開き、3か月の見守り期間を設ける。

部活動は今週から再開した。今まで活動していないので運動不足が心配される。運動の強度に注意して取り組んでいく。

生徒会の新プロジェクトは生徒主導で動く。挨拶運動をしたいという意見があったので、地域の清掃活動も併せて実施する予定。販売実習室のリフォームは、改装にあたってテレビ番組の「スマイル工務店」に出演している方がアドバイザーとして協力してもらえるこ

とになっている。将来的には全面改装をしたい。生徒は「おしゃれにしたい」と話している。各授業の協力をいただきながら、学校全体で取り組みたい。地域の人にも来てもらえることが実現できるようにした。

スクールソーシャルワーカーの活用については、生徒、家庭への働きかけを中心に進めている。地域との連携では、例えばレピラ（東大阪市立障害児者支援センター）との連携があった。いずれも教員とは違う発想、違うつながりがあるので生徒保護者対応に助かっている。また、下校時にけいれん発作が起きた生徒について、地域の方から学校へ電話連絡があり、教員が駆け付けた時に4、5名の方が見守ってくれていたのはありがたかった。

#### 質問

●委員：電車マナーなど、世間の人に教えてもらえたらありがたい。

前回見学した、クッションがある部屋の活用はどうなっているのか。

事務局員：相談室として、落ち着きたい生徒がクールダウンするために使っている。不登校の生徒も過ごすことがある。改装されたので過ごしやすい環境になっている。ただし、いつまでもいるのではなく教室へ戻るまで気持ちを整えるために使う。

●委員：脳が疲れやすいので、区切りをつけて活用するとより充実した学校生活になるのでは。

●委員：児童養護施設から通っている生徒が卒業後グループホームへ入るときに情報共有を行っているか。

事務局員：関係機関が集まってケース会議を行っている。

●委員：異性関係について、距離感はどのように説明しているのか。

事務局員：異性のからだに触れない、片手の長さ分離れる、ソーシャルディスタンスなど。学校では、もう少し行き過ぎたところへの指導もある。

#### ○令和3年度教科書について（教頭）

今年度の使用教科書について。本来であれば教科書を見ていただくのだが、予備がないので見てもらえない。一覧でご覧ください。来年度のものは選定中で、第2回の学校運営協議会でご承認いただく予定。

#### 質問

●委員：高等支援学校の教科書は共通ですか。

教頭：違います。生徒の実態に応じて教員が選んでいる。

#### (4) その他

特になし。

### 3 協議 (司会を●委員に)

司会 : 全体を通じてご意見、ご感想をお願いします。

●委員 : コロナで休校の学校がある中、たまがわは無事でありがたい。先生方の対策のおかげ、また家庭でも気を付けている。

会議室のプロジェクター設置は楽しみにしている。

学校ホームページについて、保護者はけっこう見ている。校長ブログはなぜ止まっているのかわからないが再開してほしい。

校長 : コロナの状況によって変更があるので、情報提供が難しい。ブログにあげると確定情報として出てしまう。行事予定も何度も出しなおし、訂正も大変なので自重している。

●委員 : 修学旅行などは検索するのでぜひお願いしたい。

●委員 : 卒業生のアフターフォローは再開していただきたい。

企業では職域接種が進んでいるが、1000人以上の企業が対象なので、中小ではできるところを模索している。最近医療関係の事業をしているところがいくつかの自治体や事業所をまとめてやっているの相談している。確定はしていないが、再春館製薬が経営している桜十字に申し込んでいる。梅田か心斎橋でできそう。デルタ株が心配されているが、ワクチン接種と競争で、順調にいったほしい。

●委員 : 私はコロナの2回目のワクチンを打った。うつさない、うつらないので気分的に安心している。学校は濃厚接触になるので大変では。できるだけ早く進めてほしい。

校長 : 大阪府教職員の職域接種については、今週の日曜日から開始されている。府立支援学校の教職員は、希望者は8月中に終わる。そのあと府立高校、と進む予定。

●委員 : 普段の生活の中で健康維持するための気持ち、認識、自覚は大切。子どもは今年25歳になり、家族も高齢になりグループホームを考える。自分を自分で守ることが必要。体重が増えてきて、健康管理の話をする今でも「学校で習った」と言うので、生活指導のなかで保健指導もぜひお願いしたい。生き方としても一番大切ところが健康、そんな関わり方をしてほしい。高校生は若いのでわかって

いないかもしれないが、保護者も家庭でそんな話ができるようにしてほしい。コロナ下だからこそ、健康に関する話をしやすい時期では。卒業して何年もたっても指導が生きる。

●委員：生活面は就労にも大切。3年間の教育で5年後や10年後に役立つ教育をされている。職業技術以外の情報を教えていただけている。

コロナの制限がある中で56名就職はすごい。結局は就職者の人数、定着、などで評価されるので、教員に余裕がなくなり疲弊したらよくない。課題が多い生徒に対する指導で困っている先生へ周りがどのようにサポートするのか、管理職含めて環境を作っているのが大切。より多くを求められるたまがわだからこそ大切では。

●委員：学校運営協議会の意見をどう反映するのか、考えていかれると思うが、私からは3点お願いしたい。

1つめは、卒業して安定した生活を送るために具体的にどんなことに力を入れて指導するのか、ということを考えて指導にあたってほしい。

2つめは、ICT機器の活用について、教員向けの研修で「高等支援学校の生徒にはこんなポイントで使えばよい」ということを中心に行い、結果を報告してほしい。

3つめは、地域との連携では開校当初から「開かれた学校」をめざしており、地域の人との交流、たまがわランド、マルシェ計画、喫茶室の解放、などをさらに進めてほしい。学校始まって以来のご苦労が多い時期だと思うが、先生方同士のコミュニケーションと心身の健康を保って取り組んでほしい。

#### 4 閉会の挨拶（校長）

ご質問ご意見ありがとうございます。ここでの意見提言についてどのように反映させたのか、報告を依頼されたので、念頭に置いて進めていく。貴重なご意見ありがとうございます。

#### 5 諸連絡（司会）

第2回は12月ごろに予定。日程調整するのでお願いします。

以上